



## 2022年「タイヤ点検結果」の報告

一般社団法人日本自動車タイヤ協会（会長 山石昌孝）は、警察、運輸支局、高速道路会社、自動車及びタイヤ関連団体と協力し、2022年（1月～12月）に全国で15回の路上タイヤ点検を実施し、このほどその結果をまとめましたので、ここに発表いたします。

### 【タイヤ点検結果の概要】

タイヤ点検を行った車両は、高速道路（含、自動車専用道路）92台、一般道路 486台の合計 578台で、これらの車両のタイヤ整備状況は次の通りです。

なお、本タイヤ点検結果の概要は、別表に示しました。

### 1. タイヤ点検の概要（表-1）

タイヤ点検の結果、表-1の通り、点検車両 578台のうち、タイヤに整備不良があった車両は 158台、不良率 27.3%となっています。尚、道路別にみると、高速道路のタイヤ整備不良率は 43.5%、一般道路では 24.3%という結果となっています。

表-1 タイヤ点検の概要

項目	年	2022年		
		高速道路	一般道路	合計
点検回数（回）		3	12	15
点検車両A（台）		92	486	578
タイヤ整備不良車両B（台）		40	118	158
不良率B/A（%）		43.5	24.3	27.3

注）不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

## 2. 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳（表－2）

タイヤの整備状況を項目別にみると表－2の通り、不良率1位は「空気圧不足」で20.1%、次いで「偏摩耗」3.5%、「タイヤ溝不足」1.2%の順となっています。

表－2 道路別・タイヤ整備不良項目の内訳

年 区分 項目	2022年					
	高速道路		一般道路		合 計	
	件数	%	件数	%	件数	%
タイヤ溝不足	1	1.1	6	1.2	7	1.2
偏摩耗	2	2.2	18	3.7	20	3.5
外 傷	2	2.2	2	0.4	4	0.7
釘・異物踏み	0	0.0	1	0.2	1	0.2
空気圧不足	33	35.9	83	17.1	116	20.1
そ の 他	5	5.4	33	6.8	38	6.6
計	43	-	143	-	186	-

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良（項目）がある場合がある為、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

注) 3. 不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

## 3. 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳（表－3）

タイヤの整備状況を車両グループ別に見ると、表－3の通り「乗用車」29.6%、「貨物車」17.1%が整備不良となっています。

「特種車」を含めた全体では、27.3%となっています。

表－3 車種別・タイヤ整備不良台数の内訳

車 種		点検車両（台）	不良車両（台）	不良率（%）
乗 用 車	普通乗合(2)	0	0	0.0
	普通乗用(3)	121	21	17.4
	小型乗用(5.7)	188	74	39.4
	軽(5.7)	171	47	27.5
	小 計	480	142	29.6
貨 物 車	普通貨物(1)	34	9	26.5
	小型貨物(4)	28	2	7.1
	軽(4.6)	20	3	15.0
	小 計	82	14	17.1
特種(8)		16	2	12.5
合 計		578	158	27.3

注) 1. ( )内数字は、車種ナンバーを示す。

注) 2. 不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

#### 4. 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳（表-4）

車両グループ別・項目別ワースト1位は表-4の通り、乗用車「空気圧不足」23.5%、貨物車「タイヤ溝不足」、「偏摩耗」でそれぞれ6.1%となっています。

表-4 車種別・タイヤ整備不良項目の内訳

車種	項目	タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷		釘・異物踏み		空気圧不足		そ の 他		合計
		件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	
乗用車	普通乗合(2)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	普通乗用(3)	1	0.8	1	0.8	1	0.8	0	0.0	14	11.6	7	5.8	24
	小型乗用(5.7)	0	0.0	5	2.7	1	0.5	0	0.0	63	33.5	16	8.5	85
	軽(5.7)	1	0.6	7	4.1	0	0.0	0	0.0	36	21.1	13	7.6	57
	小 計	2	0.4	13	2.7	2	0.4	0	0.0	113	23.5	36	7.5	166
貨物車	普通貨物(1)	3	8.8	5	14.7	1	2.9	1	2.9	0	0.0	1	2.9	11
	小型貨物(4)	1	3.6	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
	軽(4.6)	1	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	15.0	1	5.0	5
	小 計	5	6.1	5	6.1	2	2.4	1	1.2	3	3.7	2	2.4	18
	特種(8)	0	0.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
	合 計	7	1.2	20	3.5	4	0.7	1	0.2	116	20.1	38	6.6	186

注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合がある為、タイヤ整備不良台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。

注) 2. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアを含む。

注) 3. 不良率は、小数点以下第2位を四捨五入。

#### 【まとめ】

今回の結果をみると、「空気圧不足」が20.1%と整備不良率でワースト1位となっています。

空気圧不足のタイヤで走行すると、燃費の悪化やタイヤ寿命の低下を招く他、バーストの危険性もあります。

当会では今後も引き続き、年間を通してのタイヤ点検実施等の安全啓発活動を展開していくこととしています。

本件に関するお問い合わせ先

技術部 : 柴田、西堀

電話 03-3435-9092

道路別	項目		点検車両 (A)	タイヤ整備 不良車両 (B)	不良率 (%) (B/A)	タイヤ整備不良の項目内訳										計				
	車種No.					タイヤ溝不足		偏摩耗		外 傷 (コードに達するもの)		釘・異物踏み		空気圧不足			その他			
	件 数	不良率				件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率	件 数	不良率		件 数	不良率		
高速道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		普通乗用(3)	2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		小型乗用(5.7)	77	36	46.8	0	0.0	0	0.0	1	1.3	0	0.0	33	42.9	5	6.5	39		
		軽(5.7)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		計	79	36	45.6	0	0.0	0	0.0	1	1.3	0	0.0	33	41.8	5	6.3	39		
	貨物車	普通貨物(1)	2	1	50.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		小型貨物(4)	7	2	28.6	1	14.3	0	0.0	1	14.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2
		軽(4.6)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		計	9	3	33.3	1	11.1	1	11.1	1	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3
	3回	特種(8)	4	1	25.0	0	0.0	1	25.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
合計		92	40	43.5	1	1.1	2	2.2	2	2.2	0	0.0	33	35.9	5	5.4	43			
一般道路	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
		普通乗用(3)	119	21	17.6	1	0.8	1	0.8	1	0.8	0	0.0	14	11.8	7	5.9	24		
		小型乗用(5.7)	111	38	34.2	0	0.0	5	4.5	0	0.0	0	0.0	30	27.0	11	9.9	46		
		軽(5.7)	171	47	27.5	1	0.6	7	4.1	0	0.0	0	0.0	36	21.1	13	7.6	57		
		計	401	106	26.4	2	0.5	13	3.2	1	0.2	0	0.0	80	20.0	31	7.7	127		
	貨物車	普通貨物(1)	32	8	25.0	3	9.4	4	12.5	1	3.1	1	3.1	0	0.0	1	3.1	10		
		小型貨物(4)	21	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		軽(4.6)	20	3	15.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	15.0	1	5.0	5		
		計	73	11	15.1	4	5.5	4	5.5	1	1.4	1	1.4	3	4.1	2	2.7	15		
	12回	特種(8)	12	1	8.3	0	0.0	1	8.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
合計		486	118	24.3	6	1.2	18	3.7	2	0.4	1	0.2	83	17.1	33	6.8	143			
合 計	乗用車	普通乗合(2)	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0		
		普通乗用(3)	121	21	17.4	1	0.8	1	0.8	1	0.8	0	0.0	14	11.6	7	5.8	24		
		小型乗用(5.7)	188	74	39.4	0	0.0	5	2.7	1	0.5	0	0.0	63	33.5	16	8.5	85		
		軽(5.7)	171	47	27.5	1	0.6	7	4.1	0	0.0	0	0.0	36	21.1	13	7.6	57		
		計	480	142	29.6	2	0.4	13	2.7	2	0.4	0	0.0	113	23.5	36	7.5	166		
	貨物車	普通貨物(1)	34	9	26.5	3	8.8	5	14.7	1	2.9	1	2.9	0	0.0	1	2.9	11		
		小型貨物(4)	28	2	7.1	1	3.6	0	0.0	1	3.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2		
		軽(4.6)	20	3	15.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	15.0	1	5.0	5		
		計	82	14	17.1	5	6.1	5	6.1	2	2.4	1	1.2	3	3.7	2	2.4	18		
	15回	特種(8)	16	2	12.5	0	0.0	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2		
合計		578	158	27.3	7	1.2	20	3.5	4	0.7	1	0.2	116	20.1	38	6.6	186			

- 注) 1. 1台の車両で複数のタイヤ整備不良(項目)がある場合があり、タイヤ整備不良車両台数とタイヤ整備不良件数は必ずしも一致しない。  
 2. 不良率: 「タイヤ整備不良車両台数又は不良項目件数」/「点検車両台数」×100(小数点以下第2位を四捨五入。)  
 3. 高速道路とは自動車専用道路を含む。  
 4. 空気圧測定方法は、目視検査とエアゲージによる実測の両方。また、タイヤの状態としては、ホットエアーを含む。